

(10) おしっこが出ない

おしっこの回数・量は個人差があり、また、暑くて汗がたくさん出るほどおしっこの量が少なくなるようにその日の環境によっても変わってきます。子供の全身状態を診察するにあたって、体温・全身状態の他に排尿や排便の回数も診察の手助けとなります。お子さんの状態で診察中に聞かれることもありますので、時々確認するようお願いします。

おしっこが出ない原因は大きく分けて2つあります。

①体中の水分・電解質が不足しており、おしっこを作ることができない。

全く飲めない、嘔吐・下痢が続いている時。

また、腎臓が働かなくなり体から蛋白質がもれ出て、尿が出なくなることもあります。この時は、水分を取っているのに尿が出ず、体がむくんできます。おそらく「おしっこがでない」に気付く前に体のむくみに気付くと思われます。

②おしっこを作ることができるが出すことができない。

水分はとれているがトイレに行きたがらない、何度もトイレに行く、陰部を痛がるなどの症状が出て尿道炎等おしっこの通り道が細菌感染等を起こしている時。陰部をどこかにぶつけた等で尿道損傷（にょうどうそんしょう）を起こしている時。

医療機関救急受診のポイント

（救急外来を受診しましょう）

①「体中の水分・電解質が不足しており、おしっこを作ることができない。」場合のとき

基本的には嘔吐・下痢の時の受診のポイントと同じです。

半日以上おむつがぬれない（おしっこが出ていない）

眼がくぼんでいたり、唇や舌が渇いている

ぐったりしている

吐物が緑色、便に血液が混ざっている

両方のまぶたが腫れ、顔がむくんでいる。足がむくんでいる。

②「おしっこを作ることができるが出すことができない」場合のとき

下腹部（膀胱（ぼうこう））が張って腹痛を訴えているのに尿が出ない

何度も血液のような尿が出る

（体調がよく、1回だけの血尿であればすぐに受診する必要はありません。）

痛みのため、ぐったりしている

家庭での対処方法のポイント（Q & A）

Q 1 「体中の水分・電解質が不足しており、おしっこを作ることができない。」場合はどうしたらいいですか？

電解質を補うため少量の塩分・糖分を含む飲料でこまめに水分補給をしましょう。子供が飲みたがるものなら、ジュースやみそ汁などでもかまいません。

母乳は吸い込みに想像以上の体力を必要とします。具合の悪いときは吸いつきが悪くなりますので、ティースプーンなどを使って一口ずつ口に 入れてあげてください。

Q 2 「おしっこを作ることができるが出すことができない」場合はどうしたらいいですか？

男の子では、おちんちんの先が赤く腫れたり、膿が出たりする時があります。おちんちんが不潔な事が原因ですので、時間外ならそっと温かいお湯で洗って様子をみて下さい。軽ければ治ります。もし腫れや痛みがひかない時、かかりつけの先生を受診してください。

女の子では下着などにおりものが付く場合も同様です。おかあさんが優しく洗ってあげてください。通常は救急受診する必要はありませんが、翌日にはかかりつけの先生に診てもらってください。

この症状によくみられる代表的な病気は？

① 「体中の水分・電解質が不足しており、おしっこを作ることができない」場合

- ▶ 嘔吐下痢症(おうとげりしょう)
- ▶ ウイルス性腸炎
- ▶ 細菌性腸炎（さいきんせいちょうえん）
- ▶ ネフローゼ症候群(この時は体がむくんできます)

② 「おしっこを作ることができるが出すことができない」場合

- ▶ 尿道炎・外陰炎（にょうどうえん・がいいんえん）
- ▶ 尿道損傷（にょうどうそんしょう）

（すべり台をすべりすぎた、自転車のサドルで股を強く打った等の事象があった時）